



演出のガイド

22

重要なセリフなので、よく練習しましょう。手ぶくろを売ってくれても、まだ人間をしんじきれないのです。終わりがたがさみしいと感じるときは、このあとにM2を流しながら、みんなでおじぎ・あいさつをしてください。

演出のガイド

W

M

母さんぎつね
22 本当に人間は、いいものかしら。本当に人間は、いいものかしら。

母さんぎつね、前に出てきてきます。

M6

みんな 雪は しんしん つもっていくよ
つめたい朝には きんの風
太陽 きらきら きらめいて
かがやきかえせば あおいなみ
雪は しんしん つもっていくよ
大きい風には きんのすず
おとる ふわふわ ゆらめいて
こおるいきなら しらいきり
ゆめのなかでも きんの風
目をさましても きんのすず
きんの風 きんのすず
きんの風 きんのすず

〈歌〉きんの風、きんのすず

ぼうし屋、雪のせいたち、子どもたち、母親たち、コーラスたい、登場。



おしまい

M6 (2分12秒)

14

演出メモ

『手ぶくろを買いに』衣装・小道具のヒント

ここでは、登場人物一人一人の衣装や小道具の例を掲載しています。
このヒントを参考に、自由に工夫してください。



母さんぎつね

茶色や黒やベージュなどの服に耳としっぽをつける。



子ぎつね

茶色や黒やベージュなどの服に耳としっぽをつける。ポシェットに銅貨を2枚入れておく。



ぼうし屋

つなぎやベストなどの服にぼうしをかぶる。
子ぎつねにはめてあげる手ぶくろを持つ。

M2 「雪のうた」	M1 「きんの風、きんのすず」
<p>イントロが始まったら下手から元気よく歩いて出てくる。</p> <p>・「こな雪～」 こな雪、わた雪、ボタン雪のイメージで動きを考えて動いてみましょう。例) こな雪はポンポンを震わせるなど</p> <p>・「どっどど～」 両足で4回ジャンプする。</p> <p>・「しぶき～」 ポンポンを8回色んな場所で振る。</p> <p>・「ちいさなにじが」 端の人から順番に頭の上にて左から右にポンポンを振る。となりの人が振ったら次々と。</p> 	<p>イントロで上手から出てきて、走って止まりポンポンを揺らす動きを何度か繰り返しながら自分の位置につく。</p> <p>・「雪は～」 両腕を上にあげてポンポンを振り、「しんしん」でしゃがむ。</p> <p>・「ひかりにひかる」 右手左手と交互に顔の前に出しながら立ち上がっていく。</p> <p>・「つめたい～」 両手を大きく外に開いて、「きんの風」でそれぞれの雪のポーズ。</p> <p>・「太陽～」 ポーズのまま手首を回して、「きらめいて」で左右に大きく揺れる。</p> <p>・「かがやきかえせば～」 右手・左手と順番に隣の人と手を繋いで端からしゃがんで立つ</p> <p>てウェーブをする。※2番も同じように動く。</p> <p>・「ゆめのなかでも～」 ウェーブを続けて、「きんの風」で雪のポーズ。</p> <p>・「目をさまして～」 くるくるとゆっくり自転する。</p> <p>・「きんの風～」 自転した流れで、風が吹いているように走ってポンポンを揺らし下手にハケていく。</p> <p>例)バラバラになって走ったり円形になって走ったり真ん中に集まってポンポンを揺らしたり、色々な動きの構成を考えてみましょう。</p> 